

うまい話にご用心

催眠商法

街頭で「日用品を無料で配っている」と呼び止められ、近くのビルの一室へ連れて行かれた。そこでは日用品が次々と配られ、「欲しい人は手を挙げて」と言われた。そのたびに手を挙げていたら、そのうち「この磁気マットレス、いつもは60万円だけど今日は特別に半額」との威勢の良い声に乗せられ、思わず手を挙げてしまった。金額の高さに気付きやめようとしたが、「分割払いでもいい、ほかのお客さんが次の品物が出るのを待っているんだ」と迫られ契約書にサインしてしまった。

催眠商法は、無料で商品を配るなどといった高齢者や主婦を会場に集め、言葉巧みに消費者を一種の催眠状態にして、高額な商品を購入させる商法です。ターゲットを絞って取り囲み、契約を迫る場合もあります。会場は、ビルの空き店舗や飲食店、ホテルの会議室、近所の車庫など密閉された空間が多く、主な商品は、羽毛布団、健康治療器、健康食品です。



○ただより高いものはない

「無料」「格安」などの言葉で、来場の誘いを受けても、安易について行かないよう十分に注意しましょう。

○はっきりと断りましょう

必要のないものは断る勇気が必要です。はっきり「いりません」と断りましょう。また、契約する場合はその場で決めずに契約内容をよく確認し、家族や知人に相談しましょう。

○一人で悩まず相談を

催眠商法は、不意打ち性があるため訪問販売に当たり、契約日を含め8日以内であればクーリング・オフ制度により、無条件で契約を解除できます。また、期間を過ぎた場合であっても、その説明を受けた場合などには中途解約できる可能性があります。できるだけ早く消費生活相談窓口にご相談ください。

▼問い合わせ 市民サービスグループ (☎053491)

人が輝き まちがときめく

仲間たち Group

子育てサロン『どんぐり・コロコロ』



子どもたちの健やかな成長を願って活動しています

子育てサロン『どんぐり・コロコロ』は、日ごろ、家で孤立しがちな子育て中のお母さん方に、育児の情報交換ができ、おじいちゃんやおばあちゃんとの交流の場として、楽しい時間を過ごしてもらおうと、柏木町の主任児童委員が中心となつて、平成16年4月に設立しました。

現在、運営委員は40歳代から80歳代までの18人。毎週木曜日の10時から12時まで、柏木町内会館『こぶしの家』で活動しています。 「委員は年配者が中心ですので、遊びに来るお母さんからは、実家に帰って来たみたいと言われます。遊びは自由遊びを中心に、手遊びやお返事は、絵本の読み聞かせ、紙芝居などのほか、ひな祭りやクリスマス会などを行ったり、花を飾ったり、天気の良い日にはお散歩



歩いたりしています」と話すのは運営委員長の関根文次さん。

「委員同士、自らできることを率先して行っています。無理をしないで協力しあつて、今年の6月に200回の節目を迎えられました。毎回、参加親子が帰つてから、その日の反省会を開いて、次回に反映しています」と関根さんは会の運営の様子を話してくれました。

発起人の一人で運営副委員長の尾形優子さんは「子どもも親もわたしたちも回数を重ねるたびに親しくなり、家庭的な雰囲気があります。若いお母さんとの会話や子どもたちにつこり返してくれる笑顔に会える日が楽しみです」とうれしそうに話してくれました。入会を希望される方は、登別市社会福祉協議会(☎0880860)までどうぞ。